

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス		開講キャンパス	開設学科		環境園芸学科				
科目名称		学校ビオトープ					授業形態		講義			
科目コード		750059	単位数		2単位	配当学年			実務経験教員			
担当教員名		中野 光議									ICT活用	○
授業概要		<p>本授業の目的は、ビオトープ事業を推進するために必要な知識、技術、評価・応用に関する基礎的な能力を養うことです。本授業はビオトープ管理士の関連科目です。ビオトープの造成や管理に必要な知識と技術を、講義や野外実習等により習得します。水辺ビオトープで生物の調査を行い、ビオトープの構造や管理と生物との関係について学びます。コンテナや鉢を使用した小規模なビオトープを作成することで、ビオトープづくりの基本的な考え方を習得します。</p>										
関連する科目		<p>環境緑地論を受講していることが望ましい。履修後は、水辺環境論、環境調査及び再生論、環境緑地論実習、水辺環境論実習を履修することが望ましい。</p>										
授業の進め方と方法		<p>座学のほか、座学で学んだ内容を体験しさらに理解を深めるため、野外学習も取り入れています。野外学習では、学内の水辺ビオトープ等で生物・環境調査、清掃、コンテナビオトープづくり等を行います。</p>										
授業計画【第1回】		<p>第1回 概要、ビオトープ論導入 授業の計画と、ビオトープの定義や種類等について学びます。</p>										
授業計画【第2回】		<p>第2回 生態学 ビオトープづくりに関係がある生態学について学びます。</p>										
授業計画【第3回】		<p>第3回 環境関連法 ビオトープづくりや生物の調査・保全に関係する法律について学びます。</p>										
授業計画【第4回】		<p>第4回 計画部門 ビオトープづくりを計画するために必要な知識を学びます。</p>										
授業計画【第5回】		<p>第5回 施工部門 ビオトープづくりに携わる現場技術者に必要な知識や姿勢について学びます。</p>										
授業計画【第6回】		<p>第6回 ビオトープの調査 (1) ビオトープの構造や周辺環境を調査します。また、ビオトープの立地条件と生態ネットワークも調査します。</p>										
授業計画【第7回】		<p>第7回 ビオトープの調査 (2) ビオトープを利用する動物の調査を行います。</p>										
授業計画【第8回】		<p>第8回 ビオトープの調査 (3) ビオトープに生育する植生の調査を行います。</p>										
授業計画【第9回】		<p>第9回 ビオトープの維持管理 (1) 生物が利用しやすいビオトープを維持・創出するために必要な管理について学び、学内ビオトープの管理計画を作成します。</p>										
授業計画【第10回】		<p>第10回 ビオトープの維持管理 (2) ビオトープの清掃を体験します。</p>										

授業計画【第11回】	第11回 ビオトープの維持管理 (3) ビオトープの清掃の振り返りを行うことで、順応的管理について学びます。
授業計画【第12回】	第12回 ビオトープ作成 (1) 動植物の生態を理解し、ビオトープづくりに関する計画を作成します。
授業計画【第13回】	第13回 ビオトープ作成 (2) ビオトープに導入する動植物の採集・準備・誘致等について学びます。
授業計画【第14回】	第14回 ビオトープ作成 (3) 生物にとって住みやすく、より多くの動植物が利用可能なビオトープを創出するための工夫と技術を習得します。
授業計画【第15回】	第15回 ビオトープ作成 (4) ビオトープの環境の劣化を防ぐための長期的な維持・管理の方法について学びます。
授業の到達目標	1. ビオトープに関する基礎的な知見と技術体系・現状・課題などを理解する。【知識・理解の獲得】 2. ビオトープの設計・施工に係わる事項について、問題の所在を理解できる力を養う。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP) との関係	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	ビオトープの事例をメディア媒体や実物をなるべく多く見て、イメージできるようにしてください (1時間ほど)。
授業時間外学習【復習】	授業中に配布したプリント、および返却されたワークシートや小テストを見直してください (各回30分ほど)。
課題に対するフィードバック	提出物は評価後に返却し、解説を行います。
評価方法・基準	提出物50%、レポート20%、受講態度30% (グループワークの積極性等) の配点で評価します。
テキスト	なし
参考書	『改訂版ビオトープ管理士 資格試験 公式テキスト2級ビオトープ計画管理士・施工管理士対応』日本生態系協会 監修 (日本生態系協会マネジメントセンター) 『自宅で湿地帯ビオトープ!』中島淳著・大童澄瞳 (大和書房)
備考	なし